

★保守本流の未来先達に学ぶ 自

民党の大沼瑞穂氏(参院山形選挙区)は、来年創設60年を迎える派閥の勉強会「宏池会」を語る会に参加している。

「経済大国になった戦後70年の歩みと宏池会の歴史は重なる。『保守本流』をどう進化させるか、温故知新の精神で考えたい」と意気込む。

毎回、宏池会の政策や理念に詳しい学者や元官僚が講義。今月末まで毎週開催し、秋には今後の宏池会

はどうあるべきかを冊子にまとめる予定だ。「例えば、大平正芳元首相の田園都市構想は今の地方創生にも通ずる」と先達の政策について理解を深める。

国会
短信

★賃金の実態巡り首相を追及 民

進党の桜井充氏(参院宮城選挙区)は17日の予算委員会で「首相は『中小企業でも賃上げが広がっている』と答弁しているが、どの企業を指しているのか」と追及。政府統計の対象が一定規模以上の企業に限られる実態に触

れ「統計と国民の実感は大いぶ違う。全体を把握し、(小規模企業にも)配慮した政策が必要」と安倍晋三首相に迫った。

物価の影響を加味した1人当たりの実質賃金が低下傾向にある統計も紹介。「国民の生活は苦しくなっている」と経済政策の見直しを求めた。